

平成30年度 佐賀県立唐津商業高等学校 学校評価計画

<p><b>1 学校教育目標</b></p> <p>生徒一人ひとりの能力を伸ばし、ビジネスの知識と技術を習得させて地域や経済社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、心豊かで心身ともにたくましい唐商生を錬磨する。</p> <p>【学校経営ビジョン】</p> <p>(1) 生徒の学びの姿を通して、地域に有用で信頼されるビジネスの専門高校づくりを進める。</p> <p>(2) 将来の職業人、社会人として仕事のできる生徒を育成する。</p> <p>(3) 教職員は質の高い指導力と熱意をもって指導にあたり、協働して教育活動に取り組む。</p> <p>(4) 次の目標を掲げて、人づくりと学校づくりに努める。</p> <p>①挑戦:目標をもって授業と部活動に全力投球する。 -「燃える唐商生、唐商」づくり-</p> <p>②誠実:ビジネスの知識と技術を習得し、実践力と倫理観を培う。 -「信頼される唐商生、唐商」づくり-</p> <p>③品格: 学びの場に相応しい姿と礼節を心がけ、ルールやマナーを遵守し、人を思いやる心を持つ。 -「品格ある唐商生、唐商」づくり-</p>	<p><b>2 本年度の重点目標</b></p> <p>①授業と部活動に全力投球し、進路を実現する学力とたくましい心身を養う。</p> <p>②ICT利活用教育を推進する。</p> <p>③地域や実務と関わるビジネスの学習と活動を進めて実践力を育成するとともに、地域貢献を果たす。</p> <p>④キャリア教育で自己や職業理解を進めるとともに、体験的学習で自らの将来を考えさせる。</p> <p>⑤「心の教育」と人権教育・研修を充実させて、いじめと体罰のない学校をつくる。</p> <p>⑥韓国麗水情報科学高校と交流し、国際交流教育を進める。</p> <p>⑦唐商生としての学びの形(挨拶や態度、言葉遣い、服装)を整え、「唐商生のあり方」を指導する。</p> <p>⑧広報活動に力を入れ、本校の教育活動についての地域の理解を深める。</p> <p>⑨指導や取り組みについて全職員の共通理解を図るとともに、各主任の主導で効果的な指導を行う。</p> <p>⑩主権者教育活動に取り組み、主権者として必要な自覚と問題意識を持たせる。</p> <p>⑪<b>業務改善・教職員の働き方改革の推進。</b></p>
---	---

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価				
①授業と部活動に全力投球し、進路を実現する学力とたくましい心身を養う。				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	・基礎学力(文字力、英単語、文法等、数学)の向上、定着	・全教科について家庭学習の定着を目指す。 ・実用英語検定、全商英語検定において、昨年度以上の受検者、合格者を目指す。 ・進路に関わる数学力の向上を目指す。	・定期的な課題学習、学習用端末を活用した文字力、百人一首等の学習指導を行う。 ・長期休業明けの課題テストの実施。 ・漢字力テスト、英単語テストの定期的な実施。 ・授業や個人指導を通して検定取得を目指した指導を行う。
	○部活動指導	・部活動の活性化を推進する。 ・部活動を通して、心身ともにたくましい健全な生徒を育成する。	・部活動の加入率100%を目指す。 ・競技力の向上だけでなく、挨拶の徹底、ルールやマナーを遵守する心の育成、ひいては、施設・設備、部室、用具等を大切にすることを育てる。 ・部活動を通して、人間形成を図るとともに、自己目標達成に向けた指導を工夫する。	・加入状況を確認・把握し、未加入者には担任と連携しながら加入への働きかけを随時行う。 ・部室や施設設備の定期的な点検を行う。 ・各部部长との定期的な連絡会を行い、具体的目標を説明する。
	●健康・体づくり	・朝食摂取率の向上および自己管理能力の向上 ・健康に関する自己管理能力の育成 ・学習環境の整備を図る	・朝食摂取率92%以上をめざし、生徒がバランスのとれた食生活をおくれるよう啓発する。 ・感染症予防の指導充実により罹患率の減少、感染拡大防止を図る。 ・視力・歯科に関して治療勧告者の受診率50%以上を目指す。 ・清掃・ゴミ持ち帰り指導の充実。	・保健だよりや食育だよりによる情報発信。 ・「生活習慣アンケート」の結果に基づく実態把握および個人指導。 ・気になる生徒の個別面談を行い状況把握に努める。 ・日々の全校一斉清掃、毎月の掃除点検により美化意識の向上を図る。
	○進路指導	・就職の内定率向上 ・推薦入試合格率の向上	・朝自習の時間を利用し基礎学力の定着をはかる。 ・進路内定率100%を目指す。 ・推薦入試合格率100%を目指す。 ・小論文の指導力向上をはかる。	・学習用PCを活用するなど、朝自習の教材を工夫する。 ・夏季休業中の面接・小論文指導の充実をはかる。 ・小論文講座への教員の参加をはかる。 ・必要に応じて面談を行い、生徒の進路希望を把握する。 ・適性検査や学力検査を活用し、生徒の能力・希望に応じて適切な指導を行う。
②ICT利活用教育を推進する。				
教育活動	○教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	・ICT利活用ルールを守りつつ、学習用パソコンの活用を通じた教育活動の充実を図る。	・ICT機器の利活用ルールの周知徹底を目指す。 ・10人以上の職員が学習用パソコン用教材を自作することを目指す。 ・校外の活動において学習用パソコンを用いた発表を年間6回以上実施することを目指す。	・生徒・職員に対してICT機器の利活用ルールの周知に努め、ルールの中での活用を呼び掛ける。 ・学習用パソコンを活用した実践例を紹介し、各教科での積極的な活用を呼び掛ける。 ・生徒が学習用パソコンを用いて発表資料の作成ができるように支援する。

③地域や実務と関わるビジネスの学習と活動を進めて実践力を育成するとともに、地域貢献を果たす。

教育活動	●学力向上 (資格取得)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に関心、意欲、態度、思考、判断、知識、理解の観点から総合的に評価する。</li> <li>・技術を必要とする教科においては技能、表現を追加し総合的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生については、全商簿記2級、情報処理3級の取得を最低限の目標に据える。</li> <li>・2年生OAコースについては全商会計1級、原価計算1級(簿記1級)、ビジネス文書2級を取得させる。</li> <li>・情報処理コースは更に情報処理1級、会計科は日商簿記2級などの資格取得を目指す。また、1学期に簿記の補習を実施し、手厚い指導を心掛ける。</li> <li>・3年生については課題研究などで目標を設定させ自発的に検定取得を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生については基礎基本を指導し積極的に学ぶ姿勢を定着させる。</li> <li>・2年生は1年次に取得した資格を基礎に上級の資格取得ができるよう授業等で論理的に理解できるよう指導する。また、取得できなかった資格を補習等で指導し、再チャレンジさせる。</li> <li>・3年生は自ら考え行動できるように課題研究などで自らの方向性を考えさせながら、高度資格取得を目指す環境を整える。</li> </ul>
	○地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業のホームページを管理運営し企業側からの要望や指摘を受けながら随時更新を行い、1年を通して総合的に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が管理、運営するからつ学美舎は現在十数社と契約しているが、これを更に増やす。</li> <li>・新商品を5月末までに完成させ販売する。</li> <li>・今年度より「金融教育研究校」の委嘱を金融広報委員会より受けたので、過去から現在の金融について知識を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手デパート、百貨店など多くの客が集まる場所での販売、PR活動を増やす。</li> <li>・今年度は新商品で全国フードグランプリに出場し、上位入賞を目指す。</li> <li>・「金融教育」では外部講師の招へいによる講義で多くの知識を吸収し、調べ学習で、知識理解を深めさせる。</li> <li>・地元金融機関に出向きインタビューを行う。</li> </ul>
	○地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に有用とされる唐商生の育成。</li> <li>・地域と連携を深めた教育活動の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい笑顔と挨拶による街づくりへの貢献。</li> <li>・地元企業のイベントへの参加や販売実習を毎月行う。</li> <li>・虹ノ松原清掃活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外での挨拶やマナーを向上させ徹底させる。</li> <li>・学美舎出店企業のイベントの手伝いや販売実習を行う。</li> <li>・生徒会やボランティア同好会を中心に、積極的に奉仕活動に参加する。</li> <li>・NPO法人KANNEとの連携により、虹ノ松原清掃活動を実施しその意義を深める。</li> </ul>

④キャリア教育で自己や職業理解を進めるとともに、体験的学習で自らの将来を考えさせる。

教育活動	○キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次のバス研修、企業インタビューや2年次のインターンシップ、進路講演会や企業研究会、3年次の社会人としての心構え講演会などを通して、働く意義や社会貢献など将来の進路設計に必要な知識や技能を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次・バス研修(大学及び企業)企業インタビューの実施</li> <li>・2年次・インターンシップ企業研究会の実施</li> <li>・3年次・講義(社会人講師招聘)進路セミナーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に自己の将来の進路設計を立てるために、企業インタビューや4年制大学の訪問、大手企業の見学を通して将来の進路選択のきっかけをつくる。</li> <li>・2年次は1学期の後半4日前後のインターンシップを実施する。</li> <li>・3年次進路セミナーを実施し、就職試験直前の面接指導等を外部講師を招聘し実施する。</li> <li>・卒業直前に外部講師により講演会を実施し、社会人としての準備をさせることにより、早期の離職を防ぐ。</li> </ul>
	○進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期離職の防止をはかる。</li> <li>・離職した卒業生への就労支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LHRや学年集会を通じて、勤労意欲の醸成につとめる。</li> <li>・離職した生徒の情報を収集し、就労支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスで企業理解等を深める。</li> <li>・職員・OBを通じて、卒業生の動向把握につとめる。</li> <li>・生徒・保護者と十分に面談を行いミスマッチをなくす。</li> </ul>

⑤「心の教育」と人権教育・研修を充実させて、いじめと体罰のない学校をつくる。

教育活動	●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの年間来校予定表を保護者にも配布掲示し相談しやすい環境を作る。</li> <li>・教育相談の機会を設定し、職員と生徒の信頼関係と生徒理解を深める。</li> <li>・職員研修を実施し、情報提供等を行うとともに、学級経営の支援をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談週間を設け、心理検査を実施する。</li> <li>・スクールカウンセラー事業を有効に活用する。</li> <li>・特別支援教育・教育相談の職員研修会を1学期内に実施する。</li> </ul>
	○人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を尊重し、差別を許さない態度を育成する活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や差別について考えさせる学習や研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修を充実させ、職員の人権・同和教育についての理解を深める。</li> <li>・人権学習や進路保障を通じて、差別を許さない態度や姿勢を養う指導を行う。</li> </ul>
	●いじめの問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や友人と信頼できる関係の中、安心・安全に学校生活を送ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より生徒からの小さなサインを見逃さないよう、生徒理解に努める。いじめの防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回以上、いじめアンケート調査を実施し、早期発見に努める。</li> <li>・月に1回程度、生徒の情報共有の時間を設け、職員の間で共通理解を図る。</li> <li>・いじめが疑われたら、学年団を軸に正副担任・教科担当者、部活顧問の関係者が話し合い、いじめ対策委員会を開いて共通理解の下、迅速に対応する。</li> </ul>

⑥韓国麗水情報科学高校と交流し、国際交流教育を進める。				
教育活動	○国際交流	・韓国 麗水情報科学高校との相互交流を深める。	・ハングル選択者が韓国語を積極的に使って、交流を進める。 ・受け入れに関しては、特定の生徒ではなく、学校全体・全校生徒で交流を行う。	① 訪問・受け入れに関して、国際交流委員会を複数回開催する。 ② 交流に関して周知の準備を行い、授業に積極的な態度で参加する。 ③ 受け入れの準備段階で、全体的な交流に関する共通理解をして、各教科間での役割分担を明確にする。また、ハングル選択者が交流相手の支援や案内が出来るように指導する。
⑦唐商生としての学びの形(挨拶や態度、言葉遣い、服装)を整え、「唐商生のあり方」を指導する。				
教育活動	○生徒指導	基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上	・基本的な生活習慣を確立させる。 ・交通ルール、マナーを理解させ、交通安全の徹底を図る。 ・服装を正し、躰指導の徹底を図る。 ・情報通信ネットワーク社会の危険性を理解させ、正しい情報モラルを身につけさせる。	・「生徒指導部だより」を活用し、指導の充実及び規範意識向上を図る。 ・登校指導等において、交通ルールと8時30分登校の指導を行う。 ・学年と生徒指導部が連携を図り、身だしなみの指導を行うとともに、HR、授業、部活動など、教育活動全般にわたり注意深く観察し、指導を行う。 ・講演会や行事等を企画し、唐商生としての自覚・意識を高める。
⑧広報活動に力を入れ、本校の教育活動についての地域の理解を深める。				
特定課題	○広報活動	・本校の魅力や現状を積極的に発信する。	・本校の学校活動への理解を深めてもらえるようなパンフレット作りを目指す。 ・ホームページの掲載内容を充実させる。	・内容を見直したり写真の掲載を増やすことで、分かりやすく親しみやすいパンフレット作りを心掛ける。 ・ホームページの更新に努め、より新しく、多くの情報を発信する。
⑨指導や取り組みについて全職員の共通理解を図るとともに、各主任の主導で効果的な指導を行う。				
学校運営	○職員の共通理解	・学校教育目標・学校経営ビジョンが全職員に共通理解され、それらに沿った活動を行う。	・主任連絡会を週に1回開く。 ・職員会議等での議論の活発化、意見の集約、反省点及び問題点の改善に取り組む。	・主任連絡会等を通じて、学年団と校務分掌の連携を図る。 ・職員会議の時間短縮と議題の周知のために、会議資料の事前配布を行う。
⑩主権者教育活動に取り組み、主権者として必要な自覚と問題意識を持たせる。				
教育活動	○職員の共通理解	・選挙の実際を理解させ、話し合いを通して自己の意見を構築することによって、主権者としての自覚と問題意識を持たせる。	・選挙に関する基本的知識を身につけさせる。 ・社会的課題を見だし、仲間と共に考えをまとめる姿勢を育てる。 ・「主権者」として、国政に参加する意識を持たせる。	・年間計画に沿って、学年や教科との連携を図り、主権や選挙について時間を設けて扱い、理解を促す。 ・地歴・公民科では、時事問題を取り上げ、現在の社会問題について考えたり、話し合いをする場を設け、「主権者」としての自覚を持たせる。
⑪業務改善・教職員の働き方改革の推進				
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	業務改善に取り組み、自発的時間外勤務を削減する。	自発的時間外勤務を20%削減する。	部活動計画により、活動時間や内容について検討を行い削減策を検討する。

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目